

# 新緑の候



今年の桜はいつになく見事  
感じたのはコロナの緊張が  
和らいだせいで、少し気持ちに  
余裕ができたせいでしょうか。  
とはいえ、コロナ感染が  
私たちの生活に影響し続けてい  
ます。これが新しい日常化かと  
今更ながら思い、マスクの着用は  
これから暑くなる時期にとても  
不快を感じます。はやく「しなく  
ていいよ」の日常が戻ってほしい  
ですね。はぐるま内では、2月に  
感染が確認された2カ所の  
ホームで最長10日間の隔離状態  
があり、かなりストレスの  
かかった日々でしたが、幸いその  
後の感染はなく日常を送ってい  
ます。

これからは全部の施設を閉鎖  
せずに対策を講じることが

# はぐるま

できるようになりましたので、時々  
の状況で最善の選択をしていきます

感染に加えて世界情勢が厳しさを増し、日々  
心の痛みが蔓延しています。

このような混沌とした中ですが、多摩区拠点  
施設の建設は着々と進んでおります。

現在、機材に関しては世界情勢の影響を受  
けながらも、建物内部の設備や壁・床・設備  
など細部の工事に入ります。

現在、足場やネットが外され、外観が見えて  
きましたので、地域の方たちにも、一層目に  
留まるようになってきました。

まれにみる社会情勢の中、私たちができる  
ことは、身近な人たちを大切にすることかも  
しれません。

ここで始まる生活が地域の輪になり、ささや  
かな平穏な時間を提供できるよう努めます。

## 只今

### 工事進行中！！

「みらぼ」が障害を持った、仲間たちの働く場と同時に、この地（川崎市菅馬場）に建つ意味を再確認し「新しい社会の在り方」を発信できるよう、日々「らぼ」（研究）してまいります。7月開所に向けて急ピッチで準備をしています。

二ヶ領用水からみらぼ（左建物）を見る



No.115

2022年5月13日

社会福祉法人  
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区  
菅馬場 1-18-17  
TEL 044-946-1308

## 仲間自治会活動報告

○昨年10月に「みらぼ」と名称が決定。何回も職員会と協議し、仲間の願いを込める  
(みんなの未来をつくる場所)

▲お店や、カフェの見学に行き、木を使った暖かい感じがいいと、設計士さんに伝える。カタログを見ながら壁・床などの色を決める

◆仲間自治会積立金の二千万円を みらぼのどこに使うか話し合いをする。

□仲間の作業所希望について、仲間にアンケートを取る  
○パン製造 ○カフェ

○染物 ○縫製 ○農園

●アンケート集計

カフェ・パンの希望者が大変多かったため、仲間の希望を再度きき、第二希望で叶うように調整

※難しかったところ

・仲間同士のトラブルが予想されるところの組み合わせ

・言葉で伝えられない仲間の希望を聞くこと

○これからすること

・仲間編成

仲間の希望を家族に伝えるためのお知らせプリントを作り、配る

・各部屋の名称を決める

カフェ↓ (はぐカフェ)

パン ↓ (ペーカリー)

加工室↓ (みらぼ工房)

お店 ↓ (みらぼマルシェ)

染物 ↓ (染の家)

縫製 ↓ (アトリエ)

食堂 ↓ (はぐしよく)

大ホール↓ (みらぼホール)

※職員会と協議し決定していく

仲間自治会事務局 (作業所代表)

長原 綾

石暮由美

石暮 稚弘

大沼 至朗

佐々木 淳

小泉 拓哉

## 【仲間のこと】

入所30余年、元氣と一生懸命の代名詞のような田崎さんが、体調不良で入院され治療を受けています。現在まだ治療が必要な状態が続いています。

田崎さんの生活で生じた様々な困難なこと、病気への対応等は、今後仲間たちにも起こってくることもあり、何を準備しておくかを具体的に示唆しています。

コロナ禍の流れは病気になった方たちや、家族の在り方までも変えてしまう一大変革を起こしてしまい、田崎さんの面会もリモートの数分で人数制限もありますが、対面での面会ができるまで頑張ってほしいと願っています。



画 山田俊輔

玄関から見た風景



3F ホール

正面玄関

ニヶ領用水

ニヶ領用水ミニ知識（用水沿いの立て看板より抜粋）

古くから大雨がふるたびに洪水や氾濫を繰り返す多摩川は、川沿いであっても灌漑利用が困難でした。小泉次大夫（こいずみじだゆう）は多摩川流域の灌漑治水事業に取り組む、徳川家康の命により、慶長4年（1599）用水工事を開始し、江戸時代初期にニヶ領用水が完成しました。この名称は、稲毛領・川崎領の二つの領域にまたがっていることに由来しています。以降多摩川から川崎区までの農地を潤してきました。

※みらぼ周辺は四季折々、自然豊かな環境に恵まれ、桜並木 イチョウ並木の季節は遊歩道を散歩される方がたくさんいます。



カフェ側から見た風景

外から利用できる  
トイレ

かふえ・販売所

2F 食堂（ランチルーム）

## 【職員のこと】

新しい職員を迎えました

皆さん既に得意分野で活躍中です

★鈴木 瑞穂 (すずき みずほ)

はぐるま共同作業所



自閉症や身体障害者入所施設での勤務経験を活かし、仲間たちと楽しくお仕事が出来るよう頑張ります

▼ 森平 理子 (もりだいら のりこ)

第2作業所 ↓みらぼ



長年保育士をしていました。仲間たちとコミュニケーションを取りながら笑顔で仕事をしたいと思っています。よろしくお願ひします

## 評議委員会報告

評議委員会は法人運営に係る、重要事項の議決機関であることから、毎回役員の皆様から貴重なご意見を頂いています。

第76回表委員会、2022年度事業計画についてご指摘がありました。次回理事会で再検討し報告することになっています。ご家族・関係者の方には、令和4年度事業計画(案)として配布してありますので、ご指摘のあった部分をお伝えします。

一、就労支援事業の予算案について  
今年度の売り上げ見込みの金額の妥当性について

一、高齢化対策の具体的な計画について

一、はぐるまの基本理念見直しについて

この3点についてご意見や要望もありましたので、理事会において再協議し返答していきます。

この指摘については十分協議をし、ご家族、仲間、職員にも説明をしていかなければならないと思ひます。次号の дайりで お伝え します

◆ 関田 恵美子 (せきたえみこ) (管理栄養士)

はぐるま共同作業所



喫茶店のお仕事をしているときはぐるまの仲間が来てくれました。一緒にカフェのお仕事ができることを、とてもうれしく思ひます。よろしくお願ひ します

▲ 廣田 弥生子 (ひろた やえこ)

はぐるま共同作業所 ↓みらぼ



4月から管理栄養士として、一緒にお仕事をする事になりました。主な業務は仲間の栄養面のサポートや、栄養管理です。10数年ぶりの仕事です。すっかり浦島太郎状態ですが、精一杯努めます。よろしくお願ひ します。